

(先祖のこと)でしたので、本当に本にしたいいただき、ありがとうございます。北海道日産につきましても、勉強させていただきました。今年もよろしくお願いいたします。

谷口 稔(江別市)

★友人のお父様の遺灰を載せたロケットの打ち上げを見届げるため友人に同行しました。打ち上げ場所はロサンゼルスから車で約3時間半のロンポックという街の近郊にあるヴァンデンバーグ空軍基地。打ち上げミッション名「Bandwagon on 2」ロケットはFalcon 9 (SpaceX社)。2024年12月21



日午前3時34分打ち上げ。夜空を一瞬屋に変えたようなまばゆい光、そして打ち上がった瞬間、「ウォー」「ブー」という大歓声と拍手に包まれ打ち上げは成功。

「父が宇宙に飛んで行くエンジン」の炎を見上げていました。遺灰は暫く地球の周りを周回し、やがて大気圏に突入し燃え尽き、流れ星になる…。

今回は12名の遺灰が搭載されたそうで

す。一人分の遺灰の搭載に掛かる費用は1000万以上ですが、遺灰の量により60万円から搭載可能ということです。遺灰以外のものも搭載出来、ドバイから打ち上げを見に来た若者は自分の髪の毛を搭載したと言っていました。

弔いの形は時代と共に変化し現在は様々な形式が存在します。どんどん上昇してゆくエンジンの炎を眺めながら(亡くなつたら、こういうふうな地上から消えてゆくのもいいなあ)と思う自分がいました。

余談ですが、ロンポックの街周辺にはワイナリーが数多く点在していることを知り、ワイナリー見学も楽しみました。

ジヨークサロン 小島 裕子(埼玉)



## 北海道立文学館 開館30周年特別展

# 「木原直彦と北海道の文学」展

日時:2025年2月1日(土)~3月23日(日)

場所:北海道立文学館地階 札幌市中央区中島公園1-4

電話:011-511-7655

観覧料:一般500円

(10名以上の団体は400円)、

高大生250円、

中学生以下・65歳以上無料

木原先生は北海道立文学館(1995年開館)の初代館長。先達たちと共に長く北海道文学研究に携わり、数多くの著作を執筆。本誌カーピアセロムでは創刊(1984年7月)間もなくから連載「北海道文学ドライブ」を執筆、その後単行本として4巻(道央編、道南編、道北編、道東編)出版した。

現在「セ・ロム エッセイの森」コーナーで「木原直彦の風信」を鋭意連載中。北海道功労賞、北海道新聞文化賞など受賞。1930年厚真町上厚真生まれ。

2025年2月1日(土)~3月23日(日)

北海道立文学館 特別展示

観覧料: 一般500円、高大生250円、中学生以下・65歳以上無料

〒060-0801 札幌市中央区中島公園1-4 北海道立文学館地階

TEL: 011-511-7655

URL: <http://www.hokkaido-lit.ac.jp>

★初春に乾杯。あつと言う間に一月中旬を迎え、全国的に今が一番寒い季節を迎えています。札幌も雪で大変でしょうか?十分お気を付けてください。さて石原裕次郎・生誕90周年特別企画は映画研究家の佐藤利明さんが昨年各地で展開致しました。内容は映画鑑賞・フィルムコンサート・トークショーでし

た。クレアとしては2025年12月28日の裕次郎さんの誕生日に合わせて、ごく裕次郎さんに近い元イチクの後藤ディレクターの司会進行で当時の思い出話や、最後のレコーディングとなった「北の旅人」の秘話など、ここでしか聴けない内容でお客様も喜んでおられました。